

どうぶつの 先生からの たより

発行元：公益社団法人 愛知県獣医師会



厳しい冬、動物達は限られた飼育舎で過ごします。皆さんが世話をすることで動物達は冬を快適に過ごせるのです。餌を与える、掃除をする、それだけで済ませていませんか？今回は、ウサギの健康チェックのポイントを解説します。健康だけではなく、飼育の方法など、何か問題があったら獣医師さんに相談してください。蒲郡市立塩津小学校では、獣医師さんと一緒に、こんな問題点を解決しました。参考にしてくださいね。



3つの チェックポイント

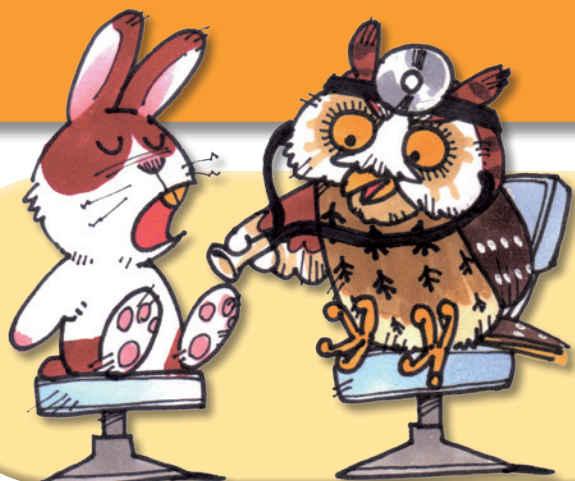
今回は健康状態チェックです！
お掃除や食事の世話で飼育小屋に入るとき、
獣医師さんになったつもりでチェックしてあげてね。



その1

おしっこ、うんちの掃除をするときの
チェック

1. 変な色していないかな？
2. うんちが柔らかくないかな？
3. うんちの数は少ないかな？



その2

食事の準備をする時のチェック

1. 食べ残していないかな？
2. 食欲はあるかな？



その3

ウサギが寄ってきてくれたら、
体を触ってチェック

1. 体はあたたかいかな？
2. けがしていないかな？
3. 体がよごれていないかな？
4. 体重は変わっていないかな？

これらを飼育日誌にちゃんと書こう！

そうすれば、次の日や来週お世話するお友達も、前のようすがわかるし、先生に報告して獣医師さんに診てもらおうときも、病気を見つける大切な手がかりになるね。

子どもたちが安心して飼育できる環境をめざして

蒲郡市立塩津小学校 杉本芳依

「ウサギさん、1羽じゃかわいそうだよ」

2年前の夏、学校のウサギ小屋に、3羽の子ウサギがやってきました。目をきらきらさせて大喜びの子どもたち。名前をつけたり、どんなものを食べるのか調べたり、一生懸命世話をする子どもたちは、みんなやさしい顔になっていました。

その年の冬、新しい命が生まれました。6羽の子ウサギが生まれたのです。愛らしい姿に子どもたちは夢中になり、いっそう熱心に世話をしました。しかし、その後も出産が繰り返され、ウサギの数はみるみる増えていきました。里親を募集し、かわいがってもらえる方に引き取ってもらいましたが、生まれるウサギの数に追いつかなくなり、一年の間に30羽ほどの数になってしまいました。

土の床はウサギが掘った穴だらけになり、えさの量の増加、排泄物の処理など、子どもたちが飼育する上で様々な問題が発生してきました。この状況をなんとかしたいと、愛知県獣医師会に相談をしました。獣医師会の先生に、ウサギたちの状態や小屋の様子などを見ていただき、適正な数で飼育する方法を教えてくださいました。今年の夏休みには、ご指導をもとに小屋の改修工事も行いました。快適な小屋の中で、ウサギがのびのびと暮らし、子どもたちが安全に、衛生的にふれあえる環境ができたことをとてもうれしく思います。子どもたちのやさしい心を育てるために、これからも大切にウサギの飼育を続けていきたいです。

穴だらけにしない
ように、半分をコン
クリートにしました。



学校の飼育で困ったり、悩んだりしたら、あるいは
教員研修のご希望などがあれば、愛知県獣医師会まで
ご連絡ください。

公益社団法人 愛知県獣医師会
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目7番9号
チサンマンション丸の内第2-901号
TEL 052-961-3435・5844
ホームページアドレス <http://www.aichi-vet.or.jp>
E-mail: office@aichi-vet.or.jp



協賛／愛知県動物保護管理協会